



表紙写真：リレー・フォー・ライフ・ジャパン  
2022とちぎ

# がんセンター だより

Tochigi  
Cancer Center  
Dayori

- P.1-2 ● 乳腺外科のご紹介
- P.3 ● マンモグラフィ検査のご案内
- P.4 ● 菱沼名誉理事長が日本対がん協会賞を受賞しました  
● 学会での受賞
- P.5 ● 新任医師のご紹介 ● 病院からのお知らせ
- P.6 ● リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022とちぎ  
● いちご一会とちぎ大会に当センター職員が出場しました

## 乳腺外科のご紹介

乳腺外科 科長 安藤 二郎

現在乳腺外科は4人の常勤医師と4人の非常勤医師で診療を行っており、2021年は270症例（279側）の乳癌手術を行いました。

乳癌の治療では繊細な術前診断と適確な病理診断が求められ、これにより術前術後の適切な薬物療法や放射線治療が決定し、施行されます。我々は多職種による乳腺カンファレンスにより手術症例や術後病理診断の検討などを行い、乳癌診療の総合力向上を図っています。さらに術前化学療法による乳房温存率の向上や、センチネルリンパ節生検による腋窩郭清の省略で積極的に手術方法の縮小化を行うとともに、広範な病変に対しては同時再建も行い、整容性と根治性のバランスの取れた、患者さんのメリットとなる治療を心がけております。

進行・再発症例の治療に関しては多職種（放射線治療科、骨軟部腫瘍・整形外科、緩和ケア科、ゲノムセンター、認定看護師など）と連携しながら、患者さんの希望にも十分に配慮した、質の高い医療の提供を目指しています。

遺伝性乳癌卵巣癌症候群についても、がん予防・遺伝カウンセリング外来や婦人科と連携し、適切な情報提供を行いながら、患者さんの希望に配慮した診療を行っております。

今後もがんセンターとしての役割、1) 先端的医療を安全に、そして適切に診療に取り入れること、2) 先進的研究、臨床試験に参加すること、3) 県内、病院内での教育、研修を行い乳癌診療レベルの向上を図ることを目標として、尽力していきたいと考えております。



乳腺外科の医師



## \ 乳腺外科医 ピックアップ /

当センターで活躍している女性医師を  
ご紹介します！

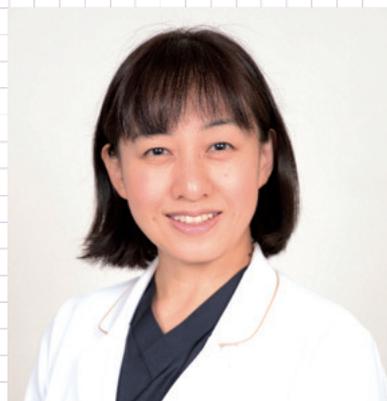
私は約10年前に栃木県立がんセンターに外科レジデントとして在籍していたことがあります。その後、母校の慶應義塾大学病院に戻り、そして2020年からまたがんセンターで働く機会を頂きました。

私は目の前の患者さんが誰かの大事な家族であるという気持ちを大事に診療をしています。自分も3人の子供の母であり、子育て世代の女性

の気持ちにも共感します。患者さんが何を求めているのか、大事にしたいことは何か、をいつも考えています。だから私の外来ではどんなお気持ちもお話しして頂けたらと思っています。

またがんセンターを頼って来て下さっていることを受け止め、高い専門性と最新のエビデンスに基づいた治療・技術を提供すること、そして多職種と連携しながら患者さんの全てにわたるケアにも気にかけていくことを目指しています。

さらに勉強、経験を重ね、今後もがんセンターとして期待されていることに誠意を持って応えたいと思います。



とよた ともか  
医長 豊田 知香



## 2021年乳癌手術療法実績

- 手術件数…………… 270 例(279 側)
- 乳房温存手術…………… 38%(105 件)
- センチネルリンパ節生検…………… 77%(216 件)
- 腋窩リンパ節郭清の省略…………… 79%(221 件)
- 乳房再建(2次再建も含む)… 19 件

## マンモグラフィ検査のご案内



女性診療放射線技師

マンモグラフィ検査は主に検診・精密検査・生検（生体検査）を行っています。

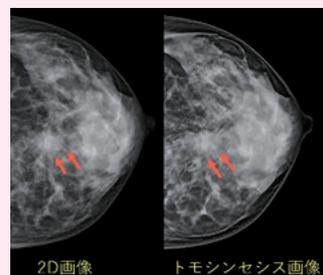
撮影は女性の診療放射線技師がチームを組織して担当しています。現在は5名の診療放射線技師が在籍しており、うち2名は検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師の認定資格を取得していま

す。患者さんの検査に対する不安が少しでも和らぐように心がけ、安全にも配慮し撮影を行っています。

2022年9月からマンモグラフィ室の内装や装置を一新しました。新しい装置では、従来の装置より少ない被ばく線量で撮影が可能となり、また新機能としてトモシンセシス撮影が行えるようになりました。

### トモシンセシスとは？

通常のマンモグラフィが一方から撮影し1枚の2D画像で表示させていたのに対し、トモシンセシスは多方向から撮影し、3D断層画像を表示させる撮影方法です。乳房内を断層画像として細かく観察できるため、乳腺に隠れていた病変を発見しやすくなります。撮影は通常のマンモグラフィと同様に乳房を圧迫しながら行い、多方向から撮影するため撮影時間は4～9秒程かかります。



比較画像

### トモシンセシスの活用

当センターではマンモグラフィ下生検も行っています。乳がんを疑う症例に対して、針を刺し組織を採取し、診断をつけます。生検の方法はいくつかありますが、石灰化を伴う病変の場合、マンモグラフィ下生検が有効です。この方法はマンモグラフィの撮影を行いながら組織を採取する位置を決めます。今回装置が新しくなったことで生検時もトモシンセシスの撮影を併用でき、断層画像による位置決めが可能となります。これにより従来に比べ石灰化の位置が詳しく把握でき、正確かつ迅速に検査を進めることが可能となり検査時間の短縮、患者さんへの負担軽減が期待されます。



マンモグラフィ装置

## 菱沼名誉理事長が 日本対がん協会賞を受賞しました

### がん医療の質の向上、 AYA世代の患者支援など地域のがん対策に貢献

2022年9月2日に、三重県で開催された「2022年度 がん制圧全国大会」において、菱沼正一名誉理事長が日本対がん協会賞を受賞しました。

この賞は、がん征圧活動に多大な功績のあった個人や団体に贈られるもので、今年度は個人の部で3名、団体の部で1団体が選ばれました。

菱沼名誉理事長は、すい臓を中心とした消化器の外科手術に熟練し、栃木県内のがん治療の進展に貢献してきたことや、2019年に「栃木県がん・生殖医療ネットワーク」を設立し、AYA世代等のがん患者の支援体制づくりにも取り組んでいることなどが高く評価されました。

本年4月に名誉理事長となってからも、肝胆膵外科医としての豊富な臨床経験を活かし、引き続き診療や手術の指導に携わり活躍しています。

今後とも、当センター及び栃木県のがん医療の発展のためにご尽力いただきたいと思っています。



菱沼正一名誉理事長

## 学会での受賞

2022年9月3日に開催された、第6回日本リンパ浮腫治療学会学術総会にて、当センター職員が優秀演題賞を受賞しました。



リンパ浮腫療法士(看護師)  
奥田 奈々恵

演題名 見えてきた ILVA 術後圧迫管理の最適化

この度の表彰は、関係者皆様のご協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。  
今回の受賞を励みに、より一層リンパ浮腫ケアの普及と質向上に注力していきたいと思っております。

- 栃木県立がんセンター 看護部 奥田 奈々恵
- 栃木県立がんセンター 形成外科 長島 隼人
- 埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科 大西 文夫



## 新任医師のご紹介



2022年10月から2名の医師が着任しました。  
どうぞよろしくお願いいたします。



名前 内野 まり恵 (うちの まりえ)

診療科・役職 骨軟部腫瘍・整形外科 医師

趣味 旅行 出身大学 慶應義塾大学

腫瘍専門施設では初めての勤務となります。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



名前 小河原 望 (おがわら のぞみ)

診療科・役職 婦人科 医師

趣味 フィギュアスケート観戦 出身大学 秋田大学

自治医科大学附属病院から来ました。分からないことばかりですが精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします！



## 病院からのお知らせ



### 「総合内科」新設のお知らせ

2022年11月1日から、総合内科が新設になりました。

科長 岸川 孝之(呼吸器内科副科長兼務)

※当センターに「がん・悪性腫瘍」でかかりつけの患者さんで、  
各主治医からの紹介患者の診察に限ります。

### 「頭頸部腫瘍・耳鼻咽喉科」診療科名変更のお知らせ

2022年11月1日から、「頭頸科」が「頭頸部腫瘍・耳鼻咽喉科」に  
診療科名が変更となりました。

担当医や診療内容に変更はございません。



## リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2022 とちぎ

リレー・フォー・ライフとは、がんサバイバー（患者）、ケアギバー（家族、遺族、支援者）をたたえ、地域社会全体でがん征圧を目指すチャリティ活動です。

栃木県での活動は、今年で10年目を迎えます。栃木大会は全国でも稀にみる、がんサバイバーの参加が多い大会です。

新型コロナウイルス感染症の影響により、集合での開催は3年ぶりとなりました。今年は、規模を縮小しての開催でしたが、笑顔が絶えない素晴らしい大会になりました。

がんセンターも後援施設としてこの活動に10年間参加しており、これからも都道府県がん診療連携拠点病院として、皆さんと共にがん征圧に携わっていきたくと思っています。

栃木県立がんセンター担当 RFL実行委員 平林・中野・牧島

2022年10月29日～31日に開催された「いちご一会とちぎ大会 第22回全国障害者スポーツ大会」に、当センター職員が出場しました。



医事課 加藤 凜香  
陸上(車いす)100m、200m に出場

**両競技で金メダル!**  
**2冠達成**

あたたかい応援ありがとうございました。

次は、世界パラ  
陸上競技選手権  
大会を目指して  
頑張ります!



加藤凜香選手

## 医療機関の皆様へ予約窓口のご案内

ご紹介いただきありがとうございます。当センターでは、患者さんの症状やご希望に応じた外来診療予約を心がけております。ご予約の際は、下記までご連絡ください。

予約センター ☎ **028-658-5012**

受付時間 平日 8:30 から 16:30

※当センターは、初診、再診ともに予約制となっています。予約センターにお電話のうえ、受診日をご予約ください。また、予約枠に制限があり、ご希望に添えない場合もあります。予めご了承ください。

### ～当日、患者さんにお持ちいただくもの～

- 保険証、各種医療証
- 診療情報提供書(紹介状)

- 各種検査結果、画像データ(お持ちの方のみ)
- お薬手帳(お持ちの方のみ)
- 当センターの診察券(お持ちの方のみ)

### ●病診連携に関するお問い合わせ

## 地域連携センター

☎ **028-611-5503**

平日 8:30 から 17:15

### ●がんに関するご相談

## がん相談支援センター

☎ **028-658-6484**

平日 8:30 から 17:00

### ●がんの遺伝カウンセリングや、ゲノム医療についての予約やお問い合わせ

## ゲノムセンター

☎ **028-611-5480**

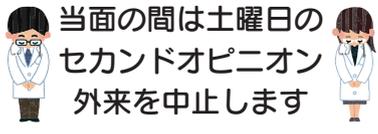
平日 8:30 から 17:00

## セカンドオピニオン外来のご案内

### ■平日午後

	月	火	水	木	金
主に胆・膵			菱沼 正一		
主に肝			尾澤 巖		尾澤 巖
主に大腸				藤田 伸 松下 尚之 藤田 剛 林 雅人 (※過毎の交代制)	
主に食道・胃				横島 一彦	横島 一彦
頭頸部腫瘍・耳鼻咽喉科					
骨軟部腫瘍・整形外科	菊田 一貴				

### ■土曜日午前

 <p>当の間は土曜日の セカンドオピニオン 外来を中止します</p>	
--	--

※予告なく変更となる場合があります

予約センター ☎ **028-658-5012**(直通) 受付時間 平日 8:30 から 16:30



## 交通のご案内

### 電車・バス

- JR宇都宮線「宇都宮駅」より  
→西口から関東バス「江曾島行(11番のりば)」に乗車。「がんセンター前」で下車。横断歩道を渡る。徒歩1分。(乗車時間約25分)
- 東武宇都宮線「江曾島駅」より  
→東口から関東バス「JR宇都宮駅行」に乗車。「がんセンター前」で下車。徒歩1分。(乗車時間約5分)

### 自動車

- 東北自動車道「鹿沼I.C.」より  
→東北自動車道「鹿沼I.C.」より宇都宮方面へ。「滝谷町」交差点を右折南進し、JR陸橋を超え3つ目の信号「八千代1丁目」を左折。(約9.4km)  
→東北自動車道「鹿沼I.C.」より宇都宮方面へ。「宮環鶴田陸橋」を右折。「下砥上町」アンダーに入ってすぐ江曾島方向へ左折し7つ目の信号を左折。(約8.2km)

がんセンター  
だより Tochigi Cancer Center Diary vol.27

11月号  
令和4年(2022)  
11月25日発行

発行 地方独立行政法人栃木県立がんセンター 広報広聴センター  
〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南4-9-13  
TEL. 028-658-5151(代) FAX. 028-658-5669

